

科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業研究（呉）		
教員名	呉 宣児			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	4年間勉強して身につけことを総動員して、各自のオリジナルテーマで研究論文を執筆する。単なる勉強ではなく＜論文を書く・研究する＞という＜知識を作り出す＞作業を通して研究のプロセスを理解し、各自の作品を卒業論文として書きあげる。						
到達目標	一人一人自分のオリジナルなテーマで論文を書きあげることが目標である。①漠然な興味から具体的にテーマを絞り込む、②どのような方法で調べることができるかを考え方法を決め調べることができる③自分で調べたデータをもとに分析をすることができる、④分析の結果、わかったことを読者に伝えるために論文の構成を考えながら執筆する。⑤論文執筆が終わった後、他者に伝えやすくする書き方を工夫しながら、レジメを作成する。また、人の前の発表する・プレゼンテーションを行うということを意識しながらポスターを作成し、発表会を行う。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	基本的に演習形式である。ゼミ生全員が毎回参加する。各自のテーマで順番に回りながら全員進行状況を報告し、全員でコメントを行いながら方向性を探っていく。論文は個人個人書くが、考えながら方向性を探す作業を共同で行う。毎回全員出席が原則である。自分の論文の進行状況の発表の日でなくても必ず授業に参加すること。就職活動の面接等で公欠する場合も、課題は必ず行い提出し、日時を調節して発表することが求められる。 指定の資料やコメントはムードルで共有する。						
アクティブラーニング	○	サービラーニング		課題解決型学修			○
受講条件 前提科目	呉ゼミ4年生。課題演習Ⅲの受講が終わっていること。文献だけの卒業論文ではなく、自分でオリジナルデータを取る。						
アセスメントポリシー及び評価方法	(1)通常の授業への取り組み(20%)：グループ作業・討論へ貢献度など(2)論文作業のプロセス・発表担当の完成度(30%) (3)最終的に提出された卒業論文(40%)と発表(10%)						
教材	決まった教材はないが、個人のテーマに合わせて文献・資料などを紹介・提示する。						
参考図書	①動きながら識る、関わりながら考える心理学における質的研究の実践 伊藤哲司・能智正博・田中共子(著)ナカニシヤ出版 2005年②よくわかる卒論の書き方白井利明・高橋一郎著 ミネルヴァ書房 2008年 その他、各自のテーマに合わせて個別に授業時に紹介する。						
	前期 ＜各自のパーソナルプロジェクト発表、オリエンテーション＞ ・卒論の書き方、講義 ・発表の順番決め  ＜各自レビューを踏まえた上で、卒論の発想について発表一巡目＞ ・全員質疑討論のなかで、方向性を探っていく。 ・一巡目発表では、テーマは決まっているが、どういう視点・側面の研究を行うかについて定めていき、どのような方法でどのような人を対象に調査を行うかなどのイメージがある程度出来るようにする。 ・毎回3～4人ずつ発表し、3コマを使い一巡目の発表と討論、コメントを行う。「  ＜各自レビューを踏まえた上で、卒論の発想について発表二巡目＞ ・全員質疑討論のなかで、方向性を探っていく。 ・二巡目には、一つのケースでもよいので、予備調査を行い、その感触をもとに考えを深めること。 ・毎回3～4人ずつ発表し、3コマを使い二巡目の発表と討論、コメントを行う。  ＜各自レビューを踏まえた上で、卒論の発想について発表三巡目＞ ・全員質疑討論のなかで、方向性を探っていく。 ・三巡目には、予備調査の結果をもとに、調査や視点に関して修正・追加すべき点を発見し、また調査を行い発表する。 ・毎回3～4人ずつ発表し、3コマを使い三巡目の発表と討論、コメントを行う。						

内容・スケジュール	<p>&lt;各自レビューを踏まえた上で、卒論の発想について発表四巡目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員質疑討論のなかで、方向性を探っていく。四巡目には、自分はどのような視点で、どのような方法で、どの範囲で調査をするかをほぼ定めた上で、どのような視点で分析ができるかに関して検討する。分析の例を検討する。</li> <li>・毎回3～4人ずつ発表し、3コマを使い四巡目の発表と討論、コメントを行う。</li> </ul>
	<p>&lt;夏休み前の最終検討、夏休み中の課題計画発表・検討&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回5人ずつ発表し、2コマを使い発表と討論、コメントを行う。</li> </ul>
	<p>後期</p> <p>&lt;夏休み中の報告(全員)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4用紙に研究と生活の面の近況報告を書いて授業に持ってくる。</li> </ul> <p>&lt;個人の論文の進み状況を発表し、質疑討論、一巡目(3～4人)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1巡目3コマを使う。</li> </ul> <p>&lt;分析方法やまとめかたの最終検討、二巡目&gt;</p> <p>2巡目3コマを使う。</p> <p>&lt;部分的に未完成でも、論文全体を通して書く、3巡目&gt;</p> <p>3巡目3コマを使う。</p> <p>&lt;11回目から&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員3巡目の発表が終わって1週間後までに、全員卒論の初版を提出すること。</li> <li>・論文全体を検討した上で、レジメ作成をし、検討会。</li> <li>・レジメの指定様式をみて、丁寧に書くこと。</li> <li>・この期間は、同時に卒論本体の誤字脱字などの修正を行う。</li> <li>・発表用のポスタを作成し、発表会の練習を行う。</li> <li>・全員参加、一人6～7分で発表し、3～4分の質疑応答。</li> <li>・この期間は、同時に卒論本体の誤字脱字などの修正を行う。</li> <li>・卒論の最終版提出。</li> <li>・総評を行う。</li> <li>・すべての授業期間が終わってから、国際コス全体の卒業論文発表会で全員発表を行う。</li> <li>・どんな理由でも卒論発表会を欠席すると10%の減点がある。</li> <li>・卒論発表会が終わってから、卒業論文集作りのために、共同作業を行う。</li> </ul>

Number	SEM-4-005-ky	Subject	Graduation Thesis		
Name	呉 宣児(Oh Seon Ah)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4
Course outline	<p>Using all the knowledge and skills for four years, each student writes their own research paper with his own original theme. Understanding the process of research through their work is not just studying but "writing a research paper means "creating knowledge", students are to finish their own piece of work.</p>				